

どうして行政改革が必要なの？

ここが問題！ 豊岡市の財政

～人口規模が同じようなまちと比較しました～

なぜ行革が必要なのか。それを理解していただくために、豊岡市財政の姿を、平成17年度決算（普通会計）をもとに人口規模や産業構造などが本市と同じようなまち（A市）と比較しながら紹介します。

10月25日発行の広報とよおかと一緒に配布した「豊岡市の行政改革について（その1）」とあわせてご覧ください。

【問合せ】 行革推進室

歳入

項目	豊岡市	A市	差し引き
歳入合計	464億6670万円	361億2430万円	103億4240万円

※旧市町分を含む決算額は、568億9370万円です。（旧市町分104億2700万円）

問 歳入全体を比較すると？

答 歳入とは、市の収入のことです。豊岡市の歳入の決算の中には、合併前の旧市町で財務処理できなかったものも含まれていますのでそれを除いた上でA市と比較します。すると、103億円4240万円、約3割多い額となります。

あれっ！103億円も多いのね

問 なぜ歳入が103億円も多いの？

答 地方交付税が多いことが最大の要因です。地方交付税とは、どの自治体でも必要最小限の住民サービスが提供できるように国が交付するお金のことです。豊岡市の場合、市独自で確保できる税金などの収入が少ないため国からの支援をたくさん受けていることと、合併したことによる特例的な支援があるためA市より約3.7倍も多い額となっています。

■項目ごとの比較

項目	豊岡市	A市	差し引き
税金	97億9280万円	141億6620万円	△43億7340万円
地方交付税	170億7480万円	46億5380万円	124億2100万円
繰入金	23億750万円	8700万円	22億2050万円
その他	172億9160万円	172億1730万円	7430万円
合計	464億6670万円	361億2430万円	103億4240万円

※旧市町分を含む税金の決算額は、税金99億5600万円です。（旧市町分1億6320万円）

※繰入金は、被災者生活支援や庁舎建設のための基金を造成するためのものです。

地方交付税はA市の3.7倍。しかし、自主財源である税収入はA市の7割。苦しい財政なのね

【歳入のまとめ】



市独自で確保できる財源は少なく、国からの財源（支援）に頼っているのが現状です。国全体で地方交付税の総額が少しの割合で削られても、豊岡市への打撃は、とても大きなものになります

歳出

項目	豊岡市	A市	差し引き
歳出合計	458億8530万円	352億4200万円	106億4330万円

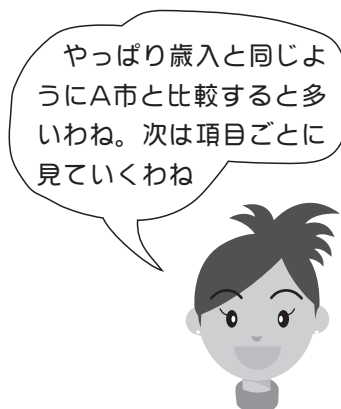
※旧市町分を含む決算額は、549億6290万円です。(旧市町分90億7760万円)

問 歳出全体を比較すると？

答 歳出とは、支出のことです。豊岡市の歳出の決算の中には、歳入と同じように合併前の旧市町で財務処理できなかったものが含まれているのでそれを除いてA市と比較します。その結果、106億4330万円、約3割多い額となります。次に、項目ごとに比較していきます。

■項目ごとの比較

項目	豊岡市	A市	差し引き
人件費	82億5015万円	62億9675万円	19億5340万円
補助費等	86億6328万円	22億2572万円	64億3756万円
繰出金	27億1200万円	38億7000万円	△11億5800万円
物件費	53億6440万円	36億6910万円	16億9530万円
公債費	71億9255万円	33億4777万円	38億4478万円
その他	137億292万円	158億3266万円	△21億2974万円
合計	458億8530万円	352億4200万円	106億4330万円



● 人件費

項目	豊岡市	A市	差し引き
人件費	82億5015万円	62億9675万円	19億5340万円

※旧市町分を含む決算額は、95億9765万円です。(旧市町分13億4750万円)

問 なぜ職員数が205人も多いの？

答 A市は、1つの市としてやりくりしてきましたが、豊岡市は、1市5町が合併してできた新しいまちなので一般職員や技能労務職員が多くなっています。教育職員については、A市には市立の幼稚園がもともと1つしかないのでも少なくなっています。また、消防職員は、合併以前から豊岡市も1市5町で広域運営をしてきましたので、A市と同じ人員になっています。

■種別職員数の比較

区分	豊岡市	A市	差し引き
一般職員	659人	547人	112人
教育公務員	45人	3人	42人
消防職員	127人	127人	—
技能労務職員	94人	43人	51人
合計	925人	720人	205人

※小・中学校の先生の人件費は、県が負担しているため表からは除外しています。



● 補助費等

項目	豊岡市	A市	差し引き
補助費等	86億6328万円	22億2572万円	64億3756万円

※旧市町分を含む決算額は、95億6628万円です。(旧市町分9億300万円)

問 A市と比べて約4倍も！どうして？

答 補助費等には、各種の負担金や補助金、保険料、報償費(謝礼など)などが含まれます。豊岡市では、公立豊岡病院(15億7930万円)や上・下水道(34億3420万円)などに関する負担金が含まれているから大きな金額になっています。